

2012 年 3 月 13 日（火）

南青山会館 大会議室

平成 23 年度 生鮮取引電子化セミナー講演録【抄出版】

クラウドサービスと新ラベリング手段による環境経営

(株)寺岡システム ASP 事業部
執行役員営業部長 杉山 悟 氏

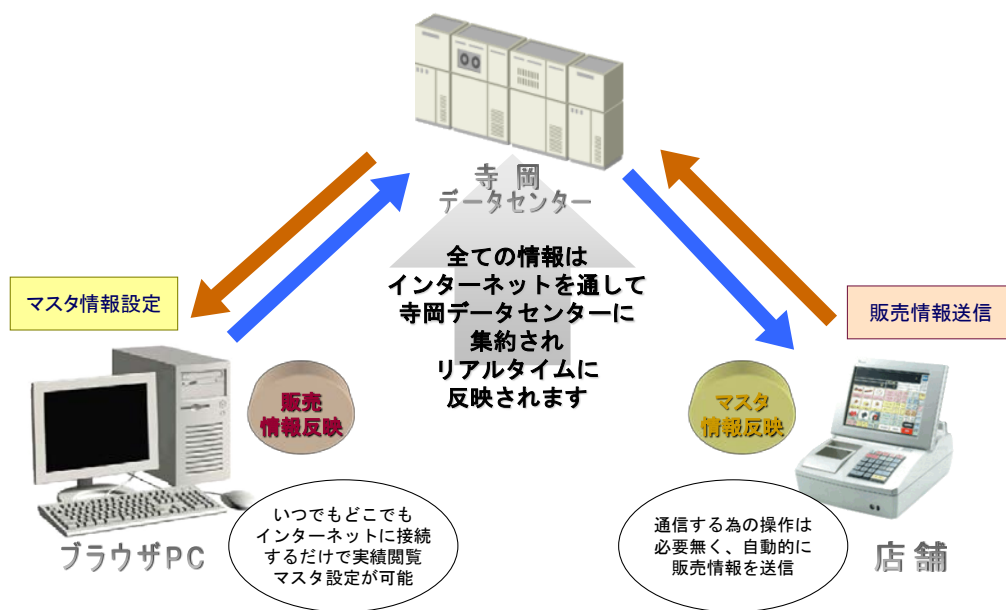
(株)寺岡精工 包装環境事業部
営業グループ係長 堀内 成久 氏

§ クラウドサービス

本日は、寺岡グループのクラウド事業と新規のラベリング機能について、ご紹介させていただきます。

寺岡グループとしてクラウド事業に取り組んでから、かれこれ 10 年以上になります。このクラウドサービスの対象業種は、例えばクリーニング業や飲食業、そして、やはりメインは流通小売業になります。その流通小売業向けのクラウドサービス「netDoA（ネットドア）」の運用を 2003 年からスタートしています。

netDoA の一番のセールスポイントは販売管理機能です。netDoA では小売店舗のレジスターが Web 対応になっていて、全国に点在する店舗の販売情報が、仙台にあるデータセンターにほぼリアルタイムで自動的に集められるようになっています（データの収集間隔は最短 5 分間に設定可能）。そして、収集した販売管理情報は、店舗以外の場所からでも、例えば iPhone などの情報端末でも、ロケーションフリーで簡単に確認することができます。そして、このように収集した膨大なデータをどのように分析していくか、それを販売戦略にどうやって活かし、消費者に対して商品をどのようにアピールしていくか、ということが大変重要となります。netDoA では、商品の日別、時間帯別（1 時間単位）の販売実績を保持していますので、過去（25 ヶ月間）のデータを自由に閲覧することが可能です。例えば、去年の創業祭における特売セールの日間の売上データを急いで確認したい場合でも、情報端末から手軽に閲覧ができます。もし、この作業を、プリントアウトを綴じている過去の売上ファイルの中から探し出して行くとすれば、ファイルの管理やデータの検索に相当な手間と時間が掛かるのではないのでしょうか。



販売管理機能の概要

次は発注管理についてですが、netDoA は JCA-VAN、WEB、FTP、FAX、そして、新たに流通 BMS にも対応しておりますので、仕入先のシステム環境に合わせた形で発注データを配信することが可能です。また、発注作業は netDoA の PC モニター端末や HT（ハンディターミナル）上からも簡単に行えます。この発注データを基にして、仕入、そして販売に繋がる、一連のマスター管理を行うことで、データの整合性や正確さが向上し、作業の効率化にも結び付いています。



発注管理機能の概要

本部・事務所

- 商品マスタメンテナンス
- 売上実績閲覧及び、売上分析

インターネット

netDoA

インターネット・データセンター

店舗

Webシリーズ

netDoA HANDY

FX-DS540-APD2(コネック製)

アクセスポイント

※DCと直結通信

- ・netDoA(データセンター)とリアルに通信することが可能となり
棚前での作業が充実し作業時間の軽減を図ります。
- ・タッチパネルで簡単操作。
- ・下記の充実した画面をご提供します。
商品関連、販売実績
仕入入力、廃棄入力、
在庫確認、振替入力
権限入力、権限子
発注入力、発注履歴確認

続いて、ラベルプリンタに対するマスター管理をご紹介します。ご承知のとおり、食品全般について、原材料や添加物、消費期限、加工日、原料原産地など、表示義務のある項目が増えています。そこで **netDoA** の機能を使えば、データセンターを経由してマスター情報を同期させることにより、複数のラベルプリンタにそれらの項目の情報を同時設定することが可能です。また、新たな取り組みとして、「GS1 データバー」という新しいバーコードシンボルを使って、青果物の栽培履歴番号やロット番号を管理するシステムの開発も進めています。

今まで、プリンターに印字項目を直接設定していたのがPC上で設定が出るようになりました。
原料原産地表示などの、**表示義務がある項目を簡単入力**。

・原材料 ・添加物 ・消費期限 ・加工日
 ・原料原産地 ・表示義務がある項目
 これらのマスタがプリンターに反映します。

プリンターのマスタを設定

netDoAの商品マスタ以外に下記の項目を入力するメニューが表示

- ・原材料
- ・添加物
- ・消費期限
- ・加工日
- ・原料原産地
- ・表示義務がある項目

これらのマスタがプリンターに反映します。

※現在青果物等生産者管理項目や栽培履歴ロット番号管理を目的としG S1データベースを使った管理を開発進行中です。

```

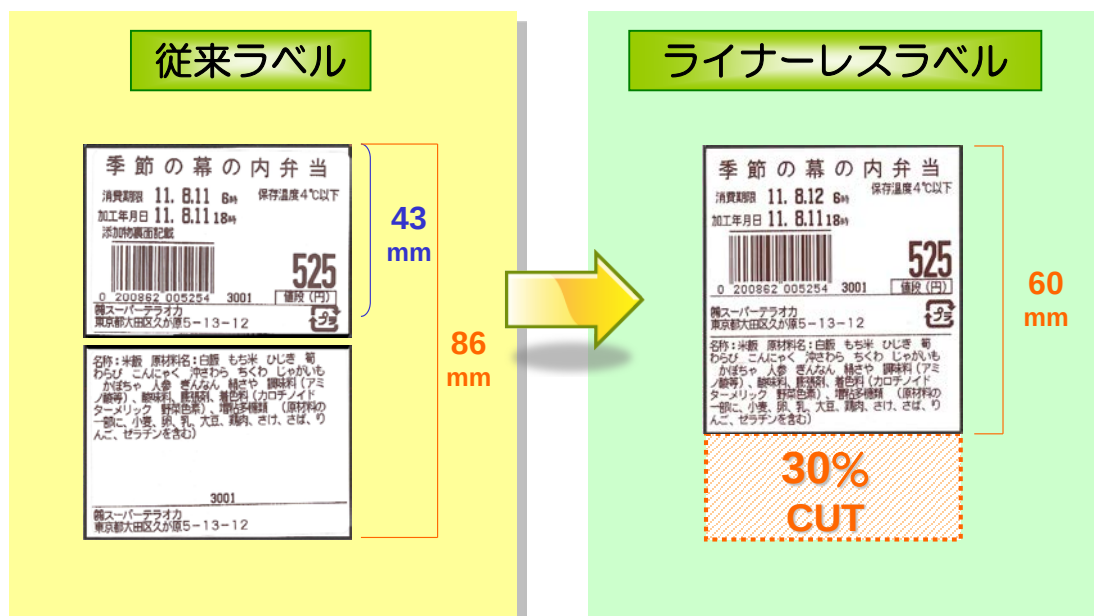
graph TD
    PC[ブラウザPC] -- マスタ情報設定 --> IDC[インターネットデータセンター]
    IDC -- マスタ情報反映 --> LP1[包装ラベルプリンター]
    IDC -- マスタ情報反映 --> LP2[計量ラベルプリンター]
  
```

3

§ 新規ラベリング機能

寺岡精工の包装環境事業部では、昨年より「E2 ソリューション」と銘打って、Economic（経済的な）と Ecological（環境にやさしい）の「2 つの E でお客様の問題を解決します。」という提案を続けており、この 2 つを同時に実現する製品づくり（E2 ソリューション）に取り組んでいます。

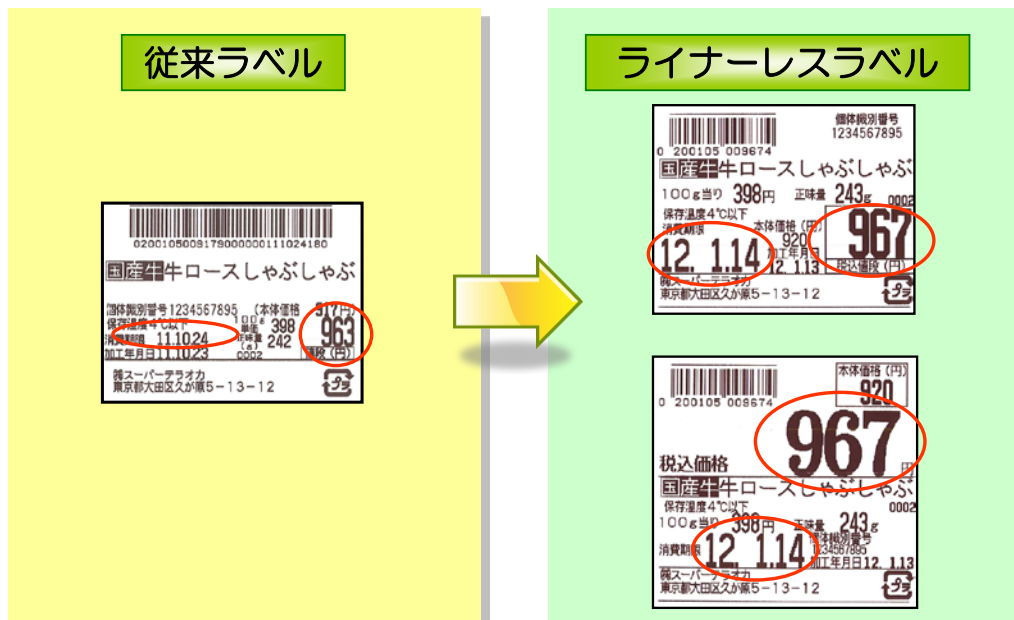
その E2 ソリューションの一例として、ライナーレスプリンタをご紹介します。このプリンタが今までと大きく異なる特徴は、ライナーレスラベル、つまり台紙のないラベルに印字できる点にあります。従来のラベルプリンタの場合は、台紙を使ったロールラベルを使用して、予め決まった大きさにカットしてあるラベルに印字します。一方、ライナーレスプリンタは、台紙の無いロールラベルを使用して、任意の長さにカットしたラベルに印字することが可能です。したがって、ライナーレスプリンタは、台紙というゴミが削減できるのに加え、ラベルの長さを任意にカットできるため、原材料表示など商品によって内容（長さ）の異なるラベルを印字する場合は、下図のようにラベル自体のムダも省けます。このライナーレスプリンタについて、あるスーパーの惣菜部門で 14 日間データを取得して検証したところ、従来ラベルと比較して、ラベル使用量が約 46.5%も削減され、非常に大きな削減効果が確認できました。



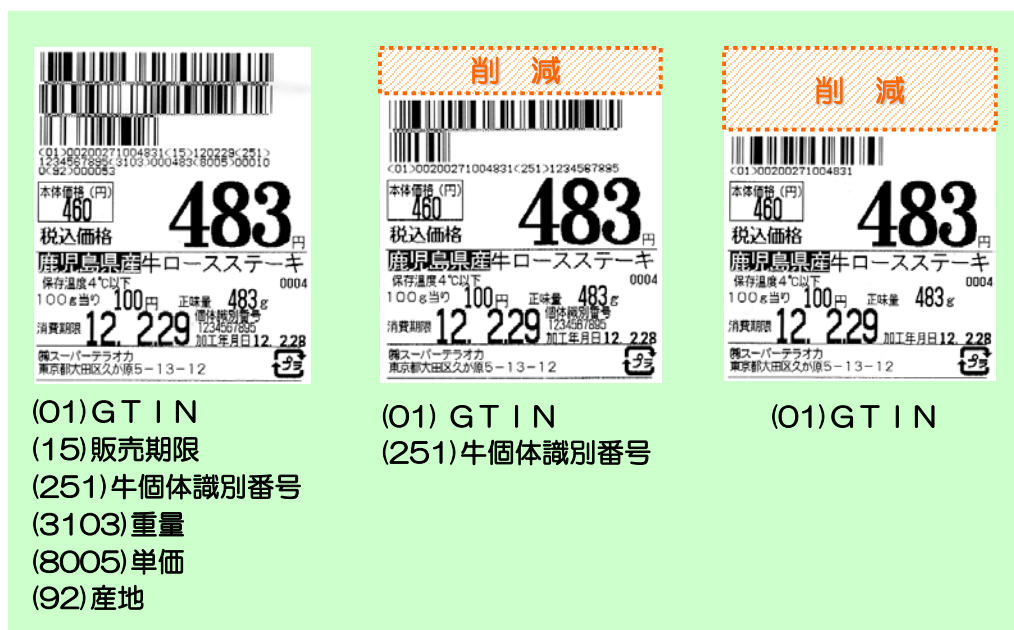
原材料まで含めた印字に従来ラベルでは 2 枚が必要で、2 枚目の余白部分がロスになる。

続いて、ラベルの視認性向上についてですが、従来ラベルでは、ほぼ決まった場所にはほぼ決まった情報しか印字できませんでした。例えば、文字の大きさの変更や、項目の増減をしたくても、ラベルのレイアウトやデザインの制限があり、変更は容易ではありませんでした。しかし、昨今はシニア対応ということで、スーパーでも売価や消費期限の文字表示を大きくしたい、という要望がかなり出てきています。また、節電のために店内の照明

を落としている店舗も増えているため、ラベルの表示方法が大きな課題になっています。そこでライナーレスプリンタを使えば、文字の大きさやレイアウトの変更が容易になるため、下図のような分かり易いラベル表示が簡単にできます。



売価と消費期を大きく印字できます。



GS1 体系のバーコード運用の際も、ライナーレスプリンタは有効なツールとなります。

このように、寺岡グループでは、クラウドサービスや新ラベリング手段による環境負荷の軽減などを通して、お客様の利便及び利益向上に向けた製品づくりに今後も取り組んで参りたいと思います。